

## ◆ はじめに

授業が始まってから1ヶ月と少しが経ちました。最初のうちは、効率よく時間を管理することができませんでしたが、最近では新しい授業にも慣れ、課題もすべて計画通りにこなせています。加えて毎週、今まで参加していた **Student Organization** にも引き続き参加しています。2月中は、たまに友人たちと飲み会を行ったりしましたが、基本的には毎週、授業、課題、**Student Organization** への参加、を繰り返していただけで、特に報告すべきイベントがありません。ですので、本報告では、流体力学のラボに関して、と **ESL** のリサーチペーパーについて少し報告するにとどめます。

## ◆ 流体力学のラボに関して

前回の報告書でも触れましたが、現在履修している **TAM335** の流体力学のクラスは、レクチャーとラボで構成されています。そのラボの授業では、実験を行い、その実験に関するレポートを翌週のラボの授業で提出します。実験は小さな実験装置を使用するものは3~4人のチームで、大きな実験装置を使用するものはクラス全体で(といっても20人いないくらいです)行います。クラス全体で実験を行う場合、どうしても仕事がない人がでてきます。仕事がない場合でも、実験データはクラス全体でシェアしますので、レポートが書けないといったことはありませんが、しかし私は、積極的に挙手して何かしらの計測なり、データ入力なりの仕事を担当するようにしています。実験によっては、チーム内でかなり議論する場合もあれば、黙々と計測を行うだけで、一言もしゃべらず実験終了といった日もあります。その実験の内容ですが、例えば、 $90^\circ$  のベンドがあるダクトに空気を流し、内側、外側、半径方向に複数設けられた孔に接続されたトランスデューサを用いて圧力を測定します。トランスデューサのキャリブレーションも自分たちで行います。得られた実験結果から圧力係数を求めたり、各成分の力を求めたり、理論値と比較してどの程度差異がありその原因は何かを考察したりします。そしてレポートは、実験目的、実験方法、理論、実験結果、考察、すべてを体裁に則って書かなければなりません。多い時には、15ページくらいになります。これを毎週提出しなければならぬのでなかなか大変です。レポート作成において、他の課題の都合上妥協せざるをえないところもあるのがやややしますが、それでも可能な限り時間をかけているので、毎回9~9.5点/10点はとれています。どれだけ時間をかけても10点はとれませんでした。前学期履修していた物理のクラスでは、テスト前にはラボはありませんでしたが、このクラスではテストの1日前にもかかわらず問答無用でラボがあります。中間テストのある今週~来週にかけては(もちろん流体の中間テストだけではありません)、地獄が待っています。

◆ **ESL** のリサーチペーパーに関して

**ESL** では中間、期末テストがない代わりにリサーチペーパーを提出しなければなりません。そのエッセイのタイプは、**Problem/Solution** というもので、問題点となるトピックを探し出し、それに関する解法を論ずるものです。当たり前ですが参考文献として記事や論文などを用いなければなりません。現在トピックを暫定し、その **pre-research** を行なっています。トピックは今のところオンラインゲームの中毒性に関することと、そのほか、タバコ、アルコールの中毒性、エナジードリンク類の大量消費が与える悪影響などを調べていて、何かしら問題点と解法をおおまかに決めようとしています。余談ですが、こちらの大学の学生の **Monster Energy** と **Red Bull** の消費量は異常です。私も研究室にいるときは、ブラックの缶コーヒーを一日で最大8本ほど飲んだことがあるのであまり人のことは言えませんが、幸か不幸かこちらには缶コーヒーはありません……。というよりも日本のように自販機だけで多くの種類

の飲み物が買えるような環境ではありません。コーラしか売ってない自販機もあります。そういうのを見る度に日本が恋しくなったりします。しましたが、もうとっくに慣れました。リサーチペーパー作成には膨大な時間がかかりそうなので、計画的にいきたいです。

もう残り 2 ヶ月とちょっとほどになりました。最後まで頑張りたいと思います。以上です。